

《公共事業の効果等について》

○資料 4－1

水産業強化支援事業（福所江漁港）

【水産課】

○資料 4－2

道路整備交付金事業（国道 207 号）

【道路課】

○資料 4－3

街路整備交付金事業（与賀町鹿子線）

【まちづくり課】

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：水産業強化支援事業【漁港機能高度化目標】
- 路線名又は箇所名：福所江漁港
- 事業の概要
 - エ 期：平成27年度～平成29年度
 - 事業費：135,000千円
 - 事業内容：物揚場拡幅 L=96.0m(W=5.0m)

【公共事業の効果等】

- 物揚場の拡幅により、作業待ちや漁船・車両の移動に係る時間が削減され、準備時間・陸揚げ時間が削減された。
- 物揚場内での作業車両の離合が容易となり、就労者の安全性が向上した。

【事業実施前の状況等】

- 出漁準備や陸揚げ時には、狭い物揚場（幅 5.5m）に駐車車両がある中で、作業せざるを得なく、他の作業車両が通行できず作業待ちが生じている
- 物揚場が狭小なことから、作業車両同士や作業車両と作業者（漁業者）の接触事故が発生するなど、危険な状態となっていた。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 事業実施後は、物揚場内に駐車スペースや準備・陸揚げスペースが確保されたことから、他の物揚場への移動や待ち時間が無くなり、安全性が向上した物揚場で漁業活動がスムーズにできるようになったため、漁業者の方々には大変喜ばれている。

公共事業に係る効果等について

水産業強化支援事業 【漁港機能高度化目標】

福所江漁港

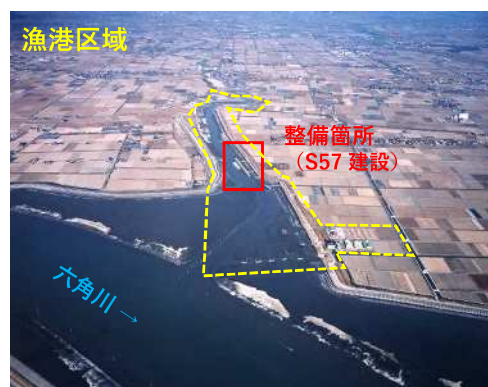
(水産課)



Ⅰ.事業概要

○物揚場の拡幅による準備時間・陸揚げ時間の削減を図る。

- ◇ 事業名：水産業強化支援事業
【漁港機能高度化目標】
- ◇ 地区名：福所江漁港
- ◇ 工期：平成27年度～平成29年度
- ◇ 事業費：135,000千円
- ◇ 負担割合：国50%、県35%、
市町・漁業者15%
- ◇ 事業内容：物揚場拡幅
L=96.0m(W=5.0m)



※物揚場：係留している船舶に、人の乗降や水産物などの荷物を上げ降ろしするための施設

2.事業の背景と目的

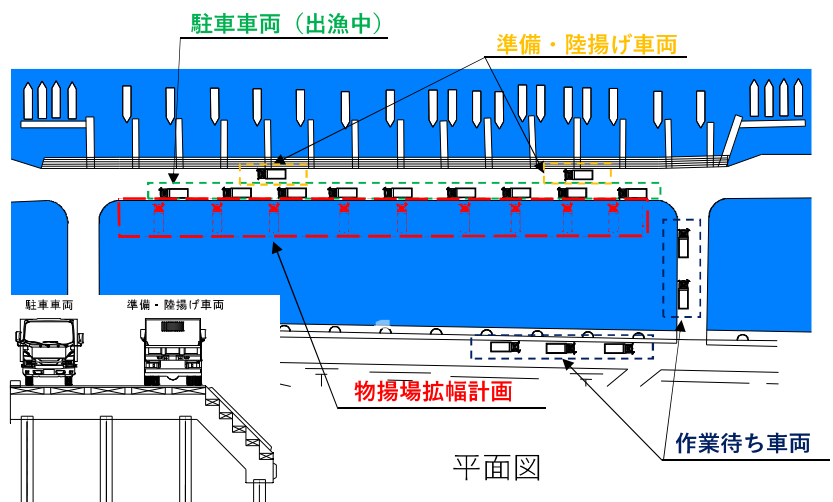
福所江漁港では、最大6mに達する潮の満ち引きの影響により満潮に近い限られた時間にしか陸揚げ作業ができない。

出漁準備や陸揚げ時には、狭い物揚場（幅5.5m）に駐車車両がある中で、作業せざるを得なく、他の作業車両が通行できず作業待ちが生じている。

このため、物揚場の拡幅を行うことで、作業待ちをなくすとともに、漁船・車両の移動に要する時間の削減を図るものである。



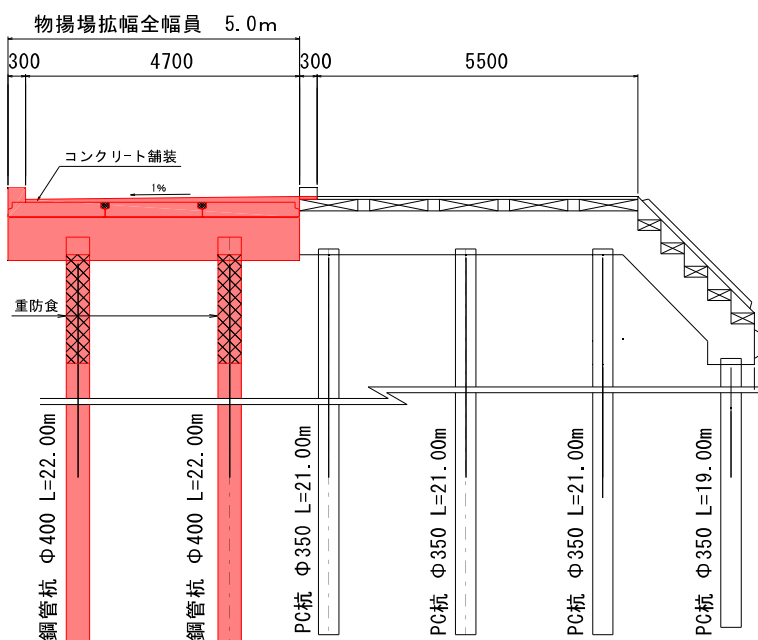
物揚場混雑状況



3.事業内容

漁業活動が円滑に行えるよう物揚場の拡幅を行う。

【標準断面図】



4.整備状況

事業実施前



事業実施後



4.整備状況

整備前



整備後



整備前



整備後



5.事業効果

○物揚場の拡幅により、作業待ちや漁船・車両の移動に係る時間が削減され、準備時間・陸揚げ時間が削減された。

○物揚場内での作業車両の離合が容易となり、接触事故の危険性が軽減され、就労者の安全性が向上した。

削減内容	削減時間（1漁家1年あたり）
駐車車両移動時間	14.0時間
準備時間	59.4時間
陸揚げ時間	104.4時間
合計	177.8時間

※年間操業日数：180日（9月～3月）

6.漁業者の声

○駐車スペースと準備・陸揚げスペースが確保され、安全性が向上したことから、漁業活動がスムーズにできるようになった。

○上流の別の物揚場への移動や待ち時間が無くなり、とても助かっている。



公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：道路整備交付金事業
 - 路線名又は箇所名：国道 207号（深浦・百貫拡幅）
 - 地区名：白石町深浦～鹿島市井手
 - 事業の概要
- 工 期：平成15年～平成29年
事業費： 約48億円
事業内容：現道拡幅
延長 L= 2.5km 幅員 W=13.0 (23.0) m

【公共事業の効果等】

- ・4車線化により交通混雑が緩和されている。また、整備後は交通事故件数が大幅に減少しており、通行の安全確保に大きく貢献している。
- ・近接する「原田跨線橋工区」との一体的な整備により、「鹿島バイパス」までの混雑が緩和され人・物流の効率化や沿線利用の活性化、緊急輸送路の機能強化に大きく貢献している。また、沿線に飲食店や家電量販店が出店し賑わいが生まれているとの声があり、社会文化環境が改善している。

【事業実施前の状況等】

当該区間は、国道 207 号と国道 444 号の交通が集中するため、交通量が約 22,000 台／日と多く、慢性的に交通混雑が発生していた。また、有明南小学校や有明中学校の通学路になっているものの、片側歩道で幅員も狭小であったため、円滑で安全な通行に支障をきたしていた。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- ・整備前後で比較して、交通事故件数が104件から24件に減少した。そのうち、追突事故は71件から10件に大幅に減少した。
- ・道路の混雑度は 1.75 から0.64に改善している。

※混雑度

- | |
|--------------------------------|
| 1.5…ノロノロ運転で停止する回数が多い状態 |
| 1.0…連続した車列ができるがノロノロすることなく走行できる |
| 0.5…平滑な走行ができる状態 |

・交通混雑の緩和により、人・モノの交流が促進され、沿線に飲食店や家電量販店が出店し、沿線の利用状況が活性化している。

（県民の声）

- ・整備前は室島南交差点から百貫橋の先までいつも渋滞していたが、4車線になってスムーズに通れるようになり騒音や振動も減った。
- ・以前は歩道が狭く片側だけですれ違う時危なかったが、工事後は両側に広くなり安全に通れるようになった。
- ・沿線に飲食店や家電量販店が出店し賑わいが生まれている。

公共事業に係る効果等について

道路整備交付金事業 国道207号（深浦・百貫拡幅）

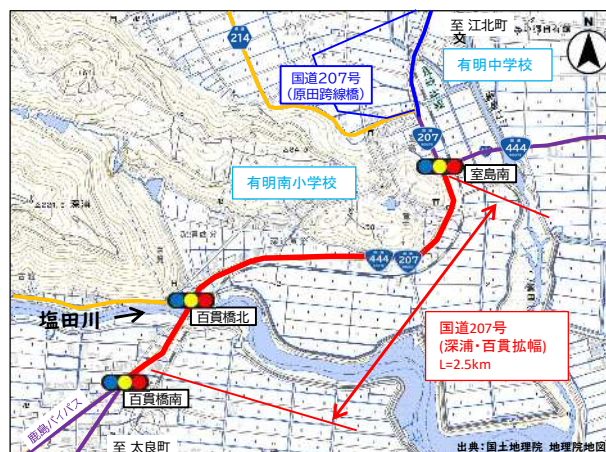
（道路課）

① 事業概要

- ◆事業名：道路整備交付金事業
- ◆路線名：国道207号
- ◆所在地：白石町深浦～鹿島市井手
- ◆工期：平成15年～平成29年
- ◆事業費：約48億円
- ◆事業内容：現道拡幅

延長 L=2.5km

幅員 W=13.0(23.0)m



凡	例
—	国 道
—	県 道

事業の背景と目的

【背景】

- 第一次緊急輸送道路に指定されており、防災上重要な路線
- 国道207号と国道444号の交通が集中（交通量：22,000台/日）し、慢性的な交通混雑及び交通事故が多発



これら解決のため

【目的】

道路拡幅（2車線→4車線）により、交通混雑の緩和及び交通事故の減少を図る

事業効果①

《交通混雑の緩和、交通事故の減少》

道路拡幅（2車線→4車線）により交通混雑の緩和及び交通事故件数の大幅な減少につながった。
特に追突事故件数は71件⇒10件に大幅減少

整備前

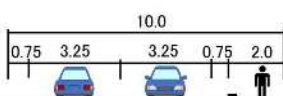


整備後



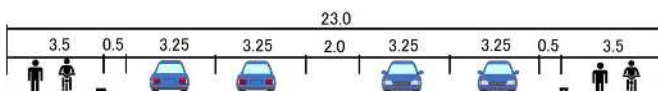
整備前

2車線



整備後

4車線



整備前後5年間の事業区間における交通事故件数(件)



事業効果②

《波及効果等》

交通混雑の緩和により、人・モノの交流が促進され、沿線に飲食店や家電量販店などが出店。



整備前後の事業区間における24時間交通量



写真①



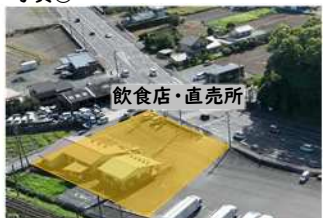
写真②



写真③



写真④



⑤ 県民の声

- 整備前は室島南交差点から百貫橋の先までいつも渋滞していたが、4車線になってスムーズに通れるようになり騒音や振動も減った。
- 昔は混んでおり、何回も信号で止まっていたが、整備により混まなくなり佐賀方面への行き来に要する時間が劇的に改善された。
- 以前は歩道が狭く片側だけですれ違う時危なかったが、工事後は両側に広くなり安全に通れるようになった。
- 交通事故が少なくなった。
- 沿線に飲食店や家電量販店が出店し賑わいが生まれた。
- 渋滞回避のために生活道路へ流入していた通過交通が減少した。

公共事業の効果等について

【事業名、地区名、事業概要】

- 事業名：街路整備事業（社会資本整備交付金事業）
- 路線名又は箇所名：（都）与賀町鹿子線（2 工区）
- 事業の概要
 - 工 期：平成 18 年度～平成 29 年度
 - 事 業 費：約 51 億円
 - 事業内容：道路拡幅、歩道拡幅、無電柱化 L=527m、W=30m

【公共事業の効果等】

- 道路拡幅（2 車線→4 車線）により、渋滞の緩和による交通の円滑化や、歩道拡幅及び歩車分離による自転車・歩行者の安全性の向上を図ることができた。
- 無電柱化により、災害時の避難路・輸送路の確保及び良好な景観の形成が図られた。
- 佐賀市中心部の重要な幹線道路において交通の円滑化や無電柱化による良好な景観の形成が図られた結果、マンションの建設、スーパーや飲食がオープンする等まちの活性化に寄与しており、他の事業の規範となる。
（スーパーマーケット 1 軒、書店・カフェ 1 軒、飲食店 2 軒、病院 1 軒、ドラッグストア 1 軒、コンビニ 1 軒、マンション 2 軒）

【事業実施前の状況等】

- 本路線は、長崎自動車道佐賀大和ICから佐賀市中心部を通り、有明海沿岸道路（整備中）、九州佐賀国際空港を連絡する交通量の多い重要な幹線街路であり、当該事業区間は、第一次緊急輸送道路に指定されており、防災上重要な路線でもある。
- 整備前は 2 車線道路であり恒常的な交通混雑が生じている上、歩道が狭く歩行者と自転車が輻輳し、危険な状態であった。

【事業実施後の状況や県民の声など】

- 歩道は広くなり、通行しやすくなった。
- 整備後はカフェや店舗などのお店が増えて便利になった。
- 地元としては整備後の環境は大変喜んでいる。
- 整備前は片側 1 車線しかなく渋滞しており、また歩道が狭かったので自転車の事故も大変多かったが、整備後はスムーズにいけるし歩行者も安心して歩ける。
- 整備に合わせて、沿道に店舗ができたり、歩車道が広がって風景が良くなった。

公共事業に係る効果等について

街路整備交付金事業 (都)与賀町鹿子線(2工区)

(まちづくり課)

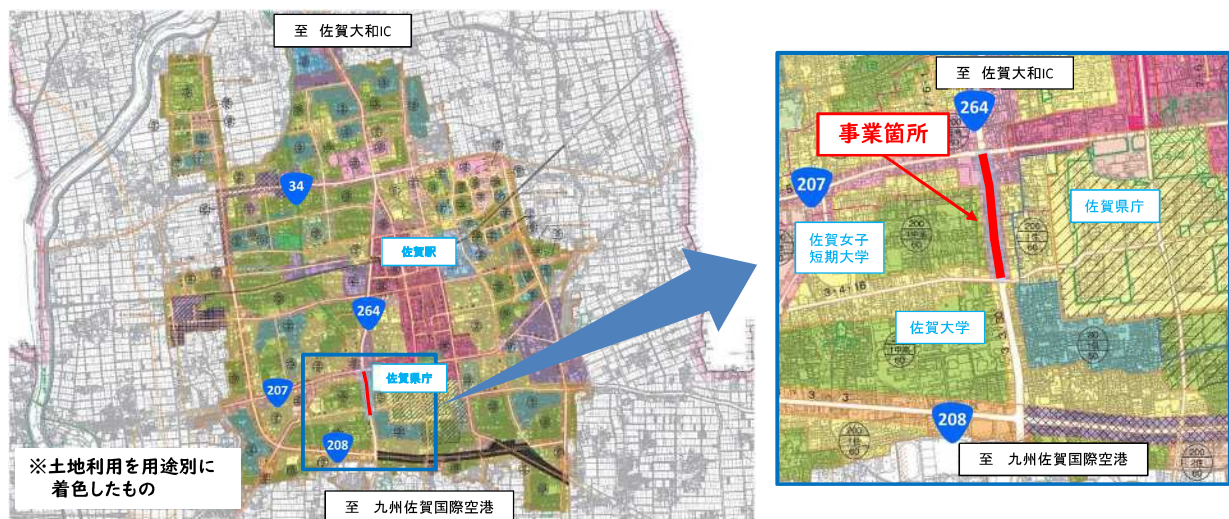
事業概要

- ◆事業名 : 街路整備事業
- ◆路線名 : (都)与賀町鹿子線(2工区)
- ◆所在地 : 佐賀市与賀町～赤松町
- ◆工期 : 平成18年 ～ 平成29年
- ◆事業費 : 約51億円
- ◆事業内容 : 道路拡幅、歩道拡幅、
無電柱化
L=527m、W=30m



事業箇所の位置づけ

■都市計画図



○街路整備事業は、周辺の土地利用計画と合わせて実施する都市計画道路の整備であり、沿道の市街化を誘導するなど、活力があり安全で安心できるまちの形成を目的としている。

○本事業箇所は、佐賀市の市街地における南北骨格軸並びに広域交通軸を構成する重要な幹線街路である。

事業の背景と目的

【背景】

- 整備前は2車線道路であり恒常的な交通混雑が生じている上、歩道が狭く歩行者と自転車輻輳し、危険な状態
- 第一次緊急輸送道路に指定されており、防災上重要な路線



これら解決のため

【目的】

- 道路拡幅（2車線→4車線）、歩道拡幅及び無電柱化により
- 渋滞の緩和、自転車歩行者の安全性の向上、災害時の円滑な避難路・輸送路の確保及び良好な景観の形成
- 安心して利用できる良好な都市空間を創出し、まちのさらなる活性化を図る

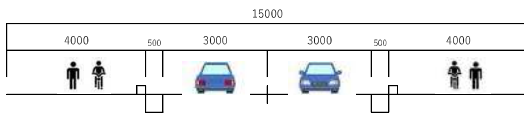
事業効果①

《渋滞の緩和、自転車歩行者の安全性の向上、交通の円滑化》

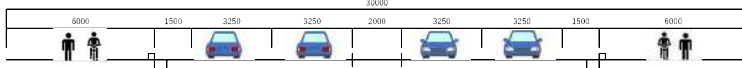
道路拡幅（2車線→4車線）による渋滞の緩和、歩道拡幅及び歩車分離により自転車・歩行者の安全性が向上により、交通の円滑化を図ることができた



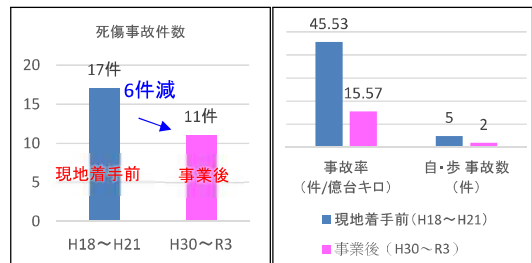
整備前



整備後



全幅員が**約2倍**に！



事業効果②

《災害時の避難路・輸送路の確保及び良好な景観の形成》

無電柱化により、災害時の避難路・輸送路の確保及び良好な景観が形成された。

佐賀市中心部の重要な幹線道路において交通の円滑化や良好な景観が形成されたことにより、周辺でマンションの建設、スーパーや飲食店の開店などまちのさらなる活性化に寄与している。



道路区域内
電柱本数
(事業前) 24本
→ (事業後) 0本

<波及効果>



県民の声

- 整備前は片側1車線のため渋滞し、また歩道が狭かったので自転車の事故も多かったが、整備後はスムーズに通行でき、歩行者も安心して歩けるようになった。
- 整備後はカフェや店舗などのお店が増えて便利になった。
- 歩車道が広くなって風景が良くなった。
- 夕方から夜にかけての歩行者が増えて、街が明るくなった。